

足立健康友の会

かばら支部ニュース

第12号
2009年7月23日
Tel: 3605-5594
<http://kabara-tomonokai.kenwa.or.jp/>

長崎に行ってきました

「第10回共同組織活動交流集会

in長崎

報告 清水 扶佐子

「長崎にいきませんか。」「えー
それ何ですか。」

第10回共同組織活動交流集会在
長崎で開かれるのでそれに参加し
ませんかというお誘い。昨年の6
月から友の会の役員になり、初め
ての体験ばかりの私がそんな立派
な集会に行つて、役に立つのか迷



いしましたが「話を聞いて勉強して
くれば良いんだよ」と背中を押さ
れる形で長崎に行つてきました。

羽田発7時55分という早朝の
飛行機で長崎へ。

浦上天主堂、片足鳥居、などを車
窓から見学。途中昼食をとり会場
の長崎ブリックホールへ着きまし
た。



オープニングに地元の方の「十
善寺龍踊り」が勇壮に舞台一杯に
繰り広げられて「長崎に来たー」

と実感。長崎市の田上富久市長の
挨拶はわかりやすくオバマ大統領
のプラハの演説にふれて、今は大
きな転換点であり「小異を残して
大同核兵器廃絶」に集まろう」と
いう言葉を紹介して、被爆国の国
民として核兵器はいらないの声を
あげて欲しいと穏やかに訴えると
会場から大きな拍手が送られまし
た。

記念講演は「いのち」。講師は医
師の肥田舜太郎先生です。お名前
位しか知りませんでした。この
92才の被爆医師のお話には、胸が震
えるほど感動しました。

被爆直後の広島の様子や患者の状
態を鮮明に語られました。人間が
何で殺されたのかわからない状態
で殺されていった現実。医者とし
てできたのは死んでいくのを見届
けたことだけ。医者が見ても原因
がわからない人々を六千人もみて
きた。そんな中から残留放射能

の研究をし、また民医連の医師と
してがんばつてこられた生きざま
はすごい一言です。

お話会場全体が励まされました。
マッカーサーが被爆者にも医療関
係者にも被爆の実態を話すなど命
令していたという話に驚きました。
講演の後先生の著書「ヒロシマを
生きのびて」をロビーで販売して
いるというアナウンスに休憩時間
になると多くの人が殺到。もちろ

ん私も駆けつけました。あつとい
う間に売り切れに。東京に戻つ
たら是非手に入れたいと思いまし
た。



中で「地域のふれあいと友情で一
人ぼつちの高齢者をなくそう」と
がんばっている皆さんの日常活動
に頭が下がる思いでした。かばら
友の会でもまだまだたくさんやれ
ることがあると実感した二日間で
した。

綾瀬2丁目で班会

7月1日(水)午後2時から会
員の江尻さん宅を会場に班会を開
きました。

参加者は4人でしたが、近所や
都営住宅の会員の近況、高齢者の
施設問題など、楽しくおしゃべり
をしました。また、「いつでも元気」
に出ていた介護報酬の記事を読み、
今回の介護保険の見直しが利用者、
サービス提供者、サービス従事者
ともプラスになっていないことが
わかりました。

この日、初めての班会でしたが、
お誘いの中で今回は都合が悪いが
次回の時は参加したいという人が
数名いました。これを取っ掛かり
にさらに近所の人も含めて参加
を呼びかけて行くことにしました。

報告 嶺岸 宏

コーラスサークル 「こもれび」名伴奏 — 二瓶みち子さん

コーラス「こもれび」のピアノ伴奏の二瓶先生との出会いは、我が家の愛犬の散歩時のお友達でした。二瓶さんの犬は「レディ」、女



の子だったので散歩の時に公園で飼い主同士話がはずんでしまいました。音大を出られて現在は御主人と大学生の息子さんの三人暮らしだそうです。ピアノ教室を自宅でやられている事を耳にしました。ピアノ伴奏の義井先生の具合が悪く、ピンチヒッターを探していたので二瓶さんに声をかけました。伊藤先生の円熟した指揮と二瓶先生の美しい伴奏とでコーラスも活気あふれています。月2回先生を東和住区センター迄連れて行くのが楽しみでお休みすること

なく頑張っています。話によりまずと、むかし元区議だった小野さんが教師の時、二瓶さんのご主人のお姉さんが生徒だったそうです。ピツクリしました。どんなことで御縁があるのか分かりませぬ。これから末長くよろしく願います。

紹介 役員 佐藤 美紀子

雨また楽しく本土寺

歩こう会

気ままにやろう、を合言葉に始め



た、かばら歩こう会の三回目は、あじさいやもみじで有名な千葉県松戸市の本土寺へ八名の参加で、六月三〇日、出かけました。

二二〇円の切符で北小金で下車駅前や人家をぬけて直ぐに現れた鬱蒼としたけやき並木の奥深さにまず圧倒され、拝観料を払って、はや本土寺へ、目当てのあじさい

は、雨に濡れて薄く、輝いて待っていてくれました。こんな近くに森や林。



博識のkさんの植物の説明や、案内で、ゆっくりと境内をめぐり、おしゃべりし、気の合った参加者たちは沢山の花や樹木に湧けあつて、まさに日常離れた世界を味わってきました。

愛憎も 雨に閉じ込め

あじさいの寺

担当 田中 英人

今こそ「核兵器廃絶」で団結しよう!

米国大統領オバマ氏は、今年の4月5日プラハにおいて「世界で唯一核兵器を使用したことのある核保有国として、米国は行動を起こす責任がある」と述べ、「この取り組みをわれわれ一國で成し遂げることはできないが、しかし、世界をけん引することはできる」と語った。

「だから今日、わたしははっきりと信念を持って、核兵器のない世界の平和と安全保障の実現に米国が取り組むことを宣言する」

G8・非同盟諸国首脳会議も支持

このオバマ宣言は全世界の平和を愛する人に歓迎されて迎えられました。

唯一の核兵器の被災国である日本の杉並の主婦から原水爆を無くそうと運動がおり、毎年世界中から代表が被爆都市広島、長崎につどい核兵器廃絶を誓い合つて運動を進めてきました。

この草の根の声がついにオバマ大統領まで届き、先進国の首脳を集まりであるG8でも核兵器廃絶をテーマにした会議を設けることが支持されました。

「平和と発展のための国際連帯」をテーマにエジプトのシャルムエ

ルシエイクで開かれていた第15回非同盟諸国首脳会議は16日、「核兵器廃絶をめざすことが、非核の世界実現の唯一の道であるとし、核保有国の核廃絶への具体的実践や、『非核の世界』実現に向けた最近の核大国指導者の誓約に前向きに対応する」と公約しました。

原水爆世界大会にかばらから

小山さん・中尾さんが参加!

二人をみんなの平和の願いを込めて長崎へ派遣するため、かばらグループで働く職員の方には今年も手作り昼食を食べていただき材料費を除いた余りを代表派遣のための資金とさせていただきます。5回の昼食の協力をお願いいたします。

友の会はバザーをおこないました。また会員のみなさまには6月に募金をお願いをさせていただきましたが8月10日まで引き続き取り組んでおりますのでご協力してください。

担当 渡辺政次

核兵器のない
平和で公正な世界を



原水爆禁止
2009年世界大会